

「山岸のカキツバタ群落」の現状を調査する

令和5年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：県指定天然記念物「山岸のカキツバタ群落」の維持・再生に関する研究

研究代表者：総合政策学部 島田直明

課題提案者：盛岡市教育委員会

研究メンバー：辻 盛生（総合政策学部）

技術キーワード：カキツバタ、岩手県天然記念物

▼研究の背景

盛岡市山岸の「山岸のカキツバタ群落」は、岩手県の天然記念物に指定されている。しかし、近年この群落ではヨシやカサスゲ等の繁茂などにより、カキツバタ花数の減少が著しいことが大きな課題である。

そこで本調査では、カキツバタの花数など基礎的な資料を得て、今後の管理について検討することが目的である。



写真1 山岸のカキツバタ群落（左：近景・右：上空から）

▼調査方法

- 1.調査枠の設置：東西50m、南北20mの天然記念物指定地を4m四方に区分した。
- 2.調査内容：カキツバタ花数・茎数調査、植生調査、水深調査などを行った。
- 3.調査期間：水深調査は4・8月、カキツバタ花数・茎数調査は6月、植生調査は8月におこなった。

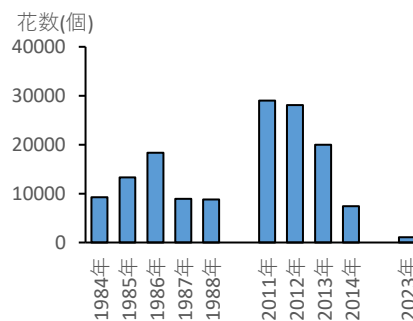
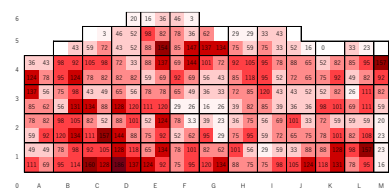
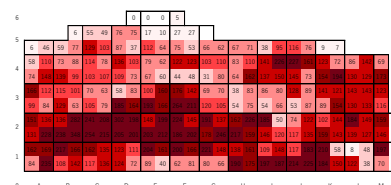


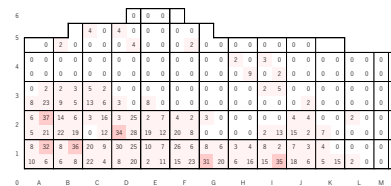
図1 カキツバタ花数の推移



1986年



2011年



2023年

表1 1980年代および2023年の主要な出現種の平均植被率（単位：%）

1980年代もしくは2023年の調査において平均植被率が10%以上の種を掲載した。

調査年	1986年	1987年	1988年	2023年
調査枠数	20	12	10	62
カキツバタ	82.5	67.5	80.0	0.7
カサスゲ	19.5	14.2	15.3	46.1
ヨシ	1.9	-	2.3	38.5
ミソソバ	28.8	41.3	24.3	11.6

以下略



図2 カキツバタ分布状況の推移

▼研究の成果

1. 2023年のカキツバタ花数は1073個となり、これまでの調査の中では過去最低の値であった。
2. カサスゲとヨシが平均植被率30～40%であった。両種とも植被率80%以上となる調査区もあった。一方、カキツバタの平均植被率は1%以下であり、最大でも5%であった。現在の管理方法では、カキツバタ以外の植物の繁茂を抑えることは難しいことが伺える。

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 1.カキツバタ群落を維持していくためには、5月中旬～6月にカキツバタ以外を鎌で取り除くこと、10月下旬頃に全ての植物を刈払機で刈り取ることが望ましいことが明らかになった。
- 2.カサスゲ除去として、秋季に刈り取りと冬期にシートを貼り湛水させる方法がある。この方法も取り入れることでカキツバタが優占する群落を目指していくことが期待される。